

センターだより

第7号

平成28(2016)年12月6日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター



吹田市教育委員会 委嘱研究学校の取組紹介



委嘱研究学校 吹田市立片山小学校 『考える力、表現する力を育むための算数の授業づくり』 片山小学校の授業研究に学ぶ

片山小学校が考える子どもにつけたい力は3つ。①課題に対して、自分の考えを持つ力 ②自分の考えを、図・式・言葉で表現する力 ③学習したことを活用する力です。取材当日は、1年生の算数科『線り上がりのあるたしざん』の授業研究でした。授業をつくるポイントは「子どものつぶやきの共有化と価値づけができたか」「～たい。を引き出す授業であったか」。研究協議は授業中の授業者と児童の発話記録をとり、それを基にした授業の時系列にそって協議を展開していました。つけたい力に向かう授業づくりのポイントが授業参観者の視点となり、研究会における議論が焦点化されたものとなっていました。



講師の杉田先生は、算数科の授業についての助言とあわせて、学級の下地づくり、教科を超えて大切にしたい授業者の姿勢について話されました。



「思考する力・それを表す力を高めるためには、一人でじっくり悩ませることが必要。図をかき力をつけたいなら、表現する方法を考え、かかせる経験を重ねることが必要。しかし、考えたことを表現することができる空間でなければならぬ。間違いがこわくない学級、安心して話ができる空間、みんなできよりそえる関係でなければならぬ。」明日の授業に生きる研究会でした。



学力向上委員会 大西先生より

「昨年度の算数科の授業研究から、めあてを児童から引き出すこと、そのための、既習学習とのちがいをすれ・こまりを発生させることを意識できるようになってきたと言えます。ただ、授業づくりの研究を進めるとともに、自分を含めた特に若い世代の教員が児童のつぶやきをひろい、つなげるための力を上げる必要性も感じています。本校では、授業づくりの研究を目的とした「教材の日」を設けています。この時間も有効活用しながら、ベテランの先生方の経験と若手教員の工夫を大切に、研究を進めていきます。」

委嘱研究学校 吹田市立豊津西中学校 『言語活動の充実を図った授業づくり～書く力に重点を置いて～』 豊津西中学校の授業研究に学ぶ



池田ゆう子指導教諭による1年生の英語科『Lesson6 My Family ALTの先生のふるさとはどこ?』の授業と研究会について報告します。

授業内容は、班ごとに教科書の英文を生徒自身が考えたチャンツで音読することによって、音読の楽しさや面白さを感じることでした。また、各班の音読を聴き合い、他班の音読について評価することによって、他班の改善点等を考える授業でした。その際、評価には、自分自身の思考を可視化する「シンキングツール」を用いていました。

池田ゆう子指導教諭は、生徒のどのような発言に対しても、うなずいたり、言葉をかけたりして、笑顔で対応されていました。生徒の反応や様子を見て、簡易な例を提示されていました。その結果、生徒の学習意欲が高まり、生徒が笑顔でリズムに乗りながら口を揃えて英文を音読している姿が印象的でした。

研究協議では、生徒一人ひとりがチャンツ作りに取り組んでいたか、「シンキングツール」の導入が効果的であったかなどについて、盛んに意見交換が行われ、言語活動を充実させようとする教職員の意識の高さを伺うことができました。



講師の三宅貴久子先生から、「シンキングツール」の有効性等について、指導助言がありました。特に、

教員は日々の授業で「シンキングツール」を使用する目的を明確にし、繰り返し使用することによって、身体化させることが重要であると強調されていました。



委嘱研究学校 千里みらい夢学園『コミュニケーション力を育てる授業づくり～授業における「学びのスタイル」の研究～』 千里みらい夢学園の研究のしくみ

千里みらい夢学園における研究主題は『コミュニケーション力を育てる授業づくり』です。授業実践をもとに、9年間を見通したカリキュラムの編成と、コミュニケーション力の育成を図る授業づくりを目指し研究しています。学園における研究体制の特徴と言えるのが、各教科部会を千里たけみ小学校、桃山台小学校、竹見台中学校の3校の教職員から構成していることです。3校の教職員で指導案をつくり、子どもの学び、成長を共有しながら授業づくり研究を進める体制を構築しています。



「授業プロセス」の研究に学ぶこと

取材当日は、千里たけみ小学校 4年生の社会科の授業を見せていただきました。本年度から新しく発足した社会教科部会における授業提案となります。今回、社会科部会で提案されたのは、「思考・表現を育む授業プロセス」の研究です。協議では、授業を提案する教科部会と3校の教職員で構成されたグループによって、調べる・考える・つなげる・つたえるの4つのプロセスについて、また、それぞれのプロセスにおける活動展開について協議を深めていました。



「これ何だと思う？」授業者の河瀬教諭が1つのグラフを提示。そのグラフを読み取ることをきっかけに、なぜ？どうして？と授業者が問いかけ、児童が発する言葉から、安全なくらしのために、何ができるのかという学習のめあてが発生しました。

活動を見通し、何に向かって思い考えるのか、それをどう表現すればいいのか。思考と表現を引き出すためには、課題が存在する場面に入りこむこと、学習活動の見通しがもてる安心が必要と言えます。今回の授業は学習のめあてをしっかりと児童につかませるための丁寧な過程が光っていたように思います。4つのプロセスに入るための、社会的事象とそこにある課題に「出会う」プロセスを大切に授業でした。



委嘱研究学校 吹田市立南山田小学校『豊かに表現し、互いに高め合う力を育てる授業づくり～表現する力と紡ぎあう力を持った子の育成～』

3年生の国語科の授業研究（教材文『ありの行列』）に参加させていただきました。筆者の論じ方と指示語や順を表す言葉に注目し、その価値を考える授業でした。研究会では、研究主題である『表現する力と紡ぎあうための力』を持った子の育成にむけた授業づくりについて議論されていました。講師としてこられたプール学院大学の今宮信吾先生からは、『ティーチング・コーチング・カウンセリング・コンサルティング』という授業者の学習活動における働きかけのスタンスについてなど、南山田小学校のスタンダードな授業づくりのための具体的な助言がありました。



授業デザインをつくり上げる三つの方法軸

子どもたちからつぶやきや考えを引き出すためには、子どもたちが考えるための土台に立っていることが前提となります。また、とらえたことや考えたことを共有するためには、効果的な伝え合う活動を設ける必要があります。そこで、南山田小学校では、児童の表現する力と伝え合い紡ぎあう力を高めるために、『視覚化・焦点化・共有化』『授業のユニバーサルデザイン化』に着目して、授業づくりを研究しています。



教材文をしっかりと読み取るための『視覚化』の方法。学習のめあてをつかみ、深い学びを生み出すための『焦点化』の方法。そして、児童の考えとその表し方を伝え合い、思考を広げ深めるための『共有化』の方法です。より効果的な発問・手立て・紡ぎあう活動の展開をつくり上げ、学校全体で共有を図るために、これら三つの方法を軸として授業を設計し、実践と研究会を通して練り上げを進めていました。



授業では、授業者である中西教諭や伝え合うときの友だちに向けられた子どもの視線の強さが印象に残っています。考えること、伝え合うことが楽しい。そんな気持ちが現れていたように思います。そして、研究会では、議論を積み重ね、紡いでいく教職員のみなさんの姿は児童と重なるものがありました。授業提案者と授業を見つめる参観者、助言者が一体となり、研究を積み重ねていくことができるのは、授業デザインをつくる目的と手段が明確であり、教職員全体で共有できているからこそであると感じました。



平成28年度吹田市立教育センター教育研究報告会の開催について

第1次案内でもお知らせしましたが、吹田市における幼稚園、小・中学校、教育研究会、委嘱研究学校、教育センターの調査研究グループ等の取組や研究成果を発信します。12月初旬に第2次案内にて、詳細を案内します。積極的な参加をお願いします。

日時 平成29年1月25日（水） 14:10～17:00
会場 吹田市文化会館メイシアター 中ホール及び集会室

ステップアップ研修「授業づくり③」

ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱでは、11月にそれぞれ小学校において、「授業づくり③」（代表者による公開授業と研究協議）を実施しました。その様子を報告します。

- 11月11日（金）：荻野 茜 教諭（藤白台小）
5年生 外国語活動 「What do you want?」

ステップアップⅠ

授業のテーマは「子どもが安心して外国語活動を話す楽しさを味わうための授業づくり」。ゲームあり、音楽ありの楽しい雰囲気の中、子どもたちはスモールステップで反復練習を行った後、練習したフレーズを活用したアクティビティに取り組みました。子どもたちの明るく生き生きとした表情が印象的な授業でした。

研究協議では「スモールステップを踏んだ手立てが、子どもの自信や意欲につながったか。」「友だちとのコミュニケーションを図る楽しさを体験する手立てができていたか。」「外国語活動を通して、集団づくりが深められていたか。」について協議を行いました。指導助言者である池田広恵指導教諭（第一中）からは、仲間の良いところを見つけられる力や集団づくりの重要性など、外国語活動のベースとなるものについてお話をいただきました。



- 11月8日（火）：社城 江莉 教諭（東山田小）
1年生 音楽科「ようすをおもいうかべよう」

ステップアップⅡ

「子どもの想像力を育むための授業づくり」をテーマに、子どもが歌詞の内容から様子を想像し、楽曲の気分を感じ取りながら、自分なりの表現ができることをねらいとした授業でした。授業の中では、子どもが楽曲についてイメージしやすいような動画の視聴やイラストの掲示など、子どもの興味関心を引き出すための工夫が盛りだくさんでした。

研究協議では、表現の工夫や技能に関して、どのようにして低学年の児童に指導すべきかについて意見が交わされました。指導助言者の今村美加指導教諭（片山小）からは、「低学年の子にとって歌は音楽のついている絵本と同じ。歌詞の世界にいかに子どもを入り込ませるかが大切である。」というお話をいただきました。



10年経験者研修 代表研究授業

11月10日（木）・14日（月）に10年経験者による小・中学校代表研究授業を実施しました。

藤白台小学校の土居教諭の授業（1年生・生活科）では、「いえのしごと」について新たな気づきを得たり、交流したことをすすんで発表し合ったりする子どもたちの姿がありました。ワークシートや掲示物等の教材のみならず、日頃の丁寧な準備や指導が子どもたちの学びに直結するということを改めて感じた時間でした。研究協議では、①「生活科(教科)の学習を児童の実生活とどのように関連付けるか。」②「子どもが主体的に活動し、学び合いのある授業にするための教師の役割。」を柱に活発な意見交流が行われました。



第五中学校の光岡教諭の授業では、「教え合いから学びにつなげる数学科の授業づくり」をテーマに3年生の「相似な図形」を少人数指導で取り組みました。生徒のつまずきの手助けの1つとして設定した「教え合い」が自然になされる学習環境が教室の中にありました。また、6月に実施した10年経験者研修「評価を意識した授業づくり」での学びが指導案にも盛り込まれ、後の研究協議においても「『評価』の見える化」の必要性について話し合われました。

指導助言者の武田教頭（吹田南小）、森教頭（第六中）からは、教科の専門性ととどまらず、よりよい授業づくりやこれから求められる授業について、10年目の立ち位置等さまざまな視点からお話しいただきました。受講者にとって貴重な学びの機会となりました。





12月・1月の教職員研修予定



| 講座名 | 番号 | 研修テーマ・講師名・概要等 | 会場 | 日時 | 対象 |
|----------------|---|--|-------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| キャリアステージにあった研修 | 7 | 授業づくり3「適応指導教室について」 講師 吹田市立教育センター 不登校児童生徒支援員 築谷 康夫 研究員 小林 優 | 吹田市自然体験交流センター | 12月6日(火) 13:45~17:00 | 中学校初任者教員 新規任用講師 |
| | 40 | 授業づくり7「小中一貫教育について」 —小学校における授業参観と研究協議— 授業者 高野台小学校 教諭 名越 尚美(道徳) 講師 千里みらい夢学園 副学園長 桃山台小学校 校長 西田 智子 | 高野台小学校 | 1月17日(火) 13:45~17:00 | 幼稚園・中学校 初任者教員 新規任用講師 |
| | 38 | 授業づくり7「小中一貫教育について」 —小学校における授業参観と研究協議— 授業者 竹見台中学校 教諭 久門 淳子(英語科) 講師 千里みらい夢学園 副学園長 竹見台中学校 校長 朝田 秀俊 | 竹見台中学校 | 1月19日(木) 13:30~17:00 | 小学校初任者教員(木曜班) 新規任用講師 |
| | 39 | 授業づくり7「小中一貫教育について」 —小学校における授業参観と研究協議— 授業者 山田東中学校 教諭 秋山 律子(音楽科) 講師 千里みらい夢学園 学園長 千里たけみ小学校 校長 森島 研次 | 山田東中学校 | 1月24日(火) 13:30~17:00 | 小学校初任者教員(火曜班) 新規任用講師 |
| | 58 | 授業づくり③「代表者による公開授業と研究協議」 授業者 第六中学校 教諭 柴田 伊織(英語科) 指導助言者 吹田市教育委員会 主幹・指導主事 杉山 奈津子 | 第六中学校 | 1月23日(月) 14:30~17:00 | 中学校ステップアップ研修 受講者 (I・II合同) |
| | 30 | 「学校改革アクションプランづくり」 | 教育センター | 1月6日(金) 14:00~17:00 | ヤングリーダー研修受講者 |
| | 80 | 学校改革の方策学「学校改革アクションプランづくり」 | 教育センター | 1月6日(金) 15:00~17:00 | 学校パワーアップ研修受講者 |
| 85 | 「スキルアップをめざして(仮)」 講師 株式会社キャリアリンク 教育コーディネーター | 教育センター 第一会議室 | 1月23日(月) 15:30~17:00 | スクールリーダーB研修受講者 | |
| 特別支援 教育 | 224 | 事例研【行動②】 事例提供 吹田市内学校園 指導助言 神戸親和女子大学 准教授 森田 安徳 | 教育センター 視聴覚室 | 1月23日(月) 15:45~17:00 | 教職員 |
| 専門職 研修 | 97 | 「緊急時の対応とその工夫 ~事例から学んだこと~」 講師 吹田東小学校 指導養護教諭 小木 小百合 佐井寺小学校 指導養護教諭 贄 宏恵 南千里中学校 指導養護教諭 坪倉 光恵 | 教育センター 視聴覚室 | 12月5日(月) 15:30~17:00 | 養護教諭・養護助教諭 |
| 情報 研修 教育 | 331 | 給食だよりや献立カレンダーの作成等について 講師 ベネッセコーポレーション インストラクター | 教育センター 情報科学室 | 12月13日(火) 15:00~17:00 | 栄養教職員 |

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。



12月・1月のさつきらるーむ(初任者教員等相談室)は、
12/8(木)、13(火)、1/10(火)、12(木)です。
申込は、教育センターまで(校務なびSA@メッセージ又は研修申し込みシステムにて)



「光の森」「学びの森」では



学生ボランティア 募集中!



吹田市立教育センターでは、学校へ登校しにくい子どもたちへの支援として実施している光の森・学びの森(適応指導教室)で活動していただける学生ボランティア(有償ボランティア)を募集しています。
子どもたちと一緒に学習したり、遊んだり、しゃべったりしてふれあう活動です。子どもが好きな方、将来教員を目指している方におすすめです。ぜひ、御紹介ください!!

【 センター所長のつばやき日記⑥ 】 「憶測は混乱を招き、確認は方向を示す」そんな1年でした。

